

2013年1～3月期2次QE予測

経済調査部シニアエコノミスト

山本康雄

03-3591-1243

yasuo.yamamoto@mizuho-ri.co.jp

- 2013年1～3月期の実質GDP成長率は前期比+0.9%（年率+3.5%）で1次速報から変わらない見通し
- 設備投資・公共投資が下方修正される一方、在庫投資が上方修正される見込み。輸出と個人消費の増加を主因に内外需バランスがとれた高成長だったという評価は1次速報時点から変わらず
- 緊急経済対策の効果で公共投資が増加に転じるほか、輸出・個人消費の増加が続き、4～6月期も年率+2～+3%台の成長が続く見通し

2013年1～3月期の実質GDP成長率は1次速報から変わらない見通し

6月10日（月）、内閣府より2013年1～3月期の「四半期別GDP速報（2次速報）」が公表される。本日発表された法人企業統計等を受けて推計したところ、同期の実質GDP成長率は前期比+0.9%（年率+3.5%）と、1次速報から変わらない見込みである（次ページ図表）。設備投資・公共投資が下方修正される一方、民間在庫投資が上方修正される結果、実質GDP成長率は1次速報と同じになるとみられる。輸出と個人消費の増加を主因に内外需バランスがとれた高成長だったという評価も1次速報時点から変わらない。

また、GDPデフレーター（前年比▲1.2%）、名目GDP成長率（前期比+0.4%、年率+1.5%）とも1次速報から変わらない見通しである。

設備投資は小幅の下方修正

法人企業統計季報によると、2013年1～3月期の設備投資（ソフトウェアを除く全産業ベース）は前年比▲5.2%（2012年10～12月期同▲7.2%）と前年割れが続いている。季節調整済前期比でも▲0.9%（10～12月期同+0.8%）と2四半期ぶりに減少した。製造業は3四半期連続で減少（前期比▲1.1%）し、非製造業（同▲0.9%）も小幅ながら減少に転じた。この結果を受けて、1～3月期のGDPベース設備投資は1次速報（前期比▲0.7%）から同▲1.0%へ小幅の下方修正が予想される。

民間在庫投資は上方修正、公共投資は下方修正

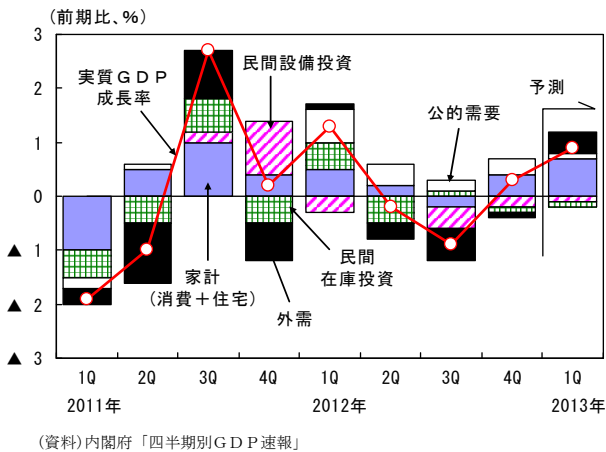
4～6月期も年率+2～+3%台の成長に

一方、民間在庫投資は、法人企業統計による原材料在庫や仕掛品在庫の推計値が加わることなどにより、上方修正が予想される。実質GDP前期比に対する寄与度は1次速報段階の▲0.2%Ptから▲0.1%Ptにマイナス幅が縮小する見込みである。その他の需要項目では、公共投資が前期比▲0.6%（1次速報同+0.8%）に下方修正されると予測している。

4～6月期は緊急経済対策で追加された公共事業の執行が本格化し、公共投資が増加に転じるとみられる。また、円安の数量面への効果が徐々に表れ、輸出は増加を維持する見通しである。消費者マインドの改善の後押しされ、個人消費も緩やかな拡大が続くと予測される。設備投資の回復はやや遅れるものの、公的需要の伸びが高まり輸出と個人消費が増加を維持することにより、4～6月期の実質GDPは年率+2～+3%台の成長になると予測している。

※ みずほ総合研究所では、2013年1～3月期の2次QEの発表等を受けて、2013・14年度内外経済見通しを改訂する予定（6月10日公表）です。

図表 2013年1～3月期2次QE予測



	(前期比・%)				2013年 1～3	1～3 1次QE
	2012年 1～3	4～6	7～9	10～12		
国内総支出	1.3	-0.2	-0.9	0.3	0.9	0.9
(前期比年率)	5.3	-0.9	-3.5	1.0	3.5	3.5
(前年比)	3.4	4.0	0.3	0.5	0.2	0.2
国内需要	1.2	0.1	-0.2	0.3	0.5	0.5
(1.2)	(0.1)	(-0.3)	(0.3)	(0.5)	(0.5)	(0.5)
国内民間需要	0.8	-0.4	-0.7	0.1	0.5	0.5
(0.6)	(-0.3)	(-0.5)	(0.1)	(0.4)	(0.3)	(0.3)
民間最終消費支出	0.8	0.2	-0.4	0.4	0.9	0.9
民間住宅	-1.5	2.3	1.5	3.5	1.9	1.9
民間企業設備	-2.4	-0.3	-3.3	-1.5	-1.0	-0.7
民間在庫品増加	(0.5)	(-0.5)	(0.1)	(-0.1)	(-0.1)	(-0.2)
公的需要	2.4	1.5	1.0	1.1	0.3	0.6
(0.6)	(0.4)	(0.2)	(0.3)	(0.1)	(0.2)	(0.2)
政府最終消費支出	1.4	0.5	0.4	0.7	0.6	0.6
公的固定資本形成	6.7	6.3	3.4	2.8	-0.6	0.8
財貨・サービスの純輸出	(0.1)	(-0.3)	(-0.6)	(-0.1)	(0.4)	(0.4)
輸出	2.7	-0.0	-4.4	-2.9	3.8	3.8
輸入	2.0	1.8	-0.3	-2.2	1.0	1.0
名目GDP	1.2	-0.6	-1.0	0.1	0.4	0.4
GDPデフレーター(前年比)	-1.0	-1.0	-0.8	-0.7	-1.2	-1.2

(注) ()内は国内総支出への寄与度
(資料)内閣府「四半期別GDP速報」

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。